

災害対策トレーニングセンター

[レジリエンス]



生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター
Center for Disaster Management Training Center

<https://tdmtc.tokyo/>

設立趣旨: Statement

毎年のように世界中で地震、風水害などの自然災害が発生し、多くの人命や財産が失われており、私たちは総力戦でこれらの災害に立ち向かうしかない状況に直面しています。そこでDMTCは、新たな局面における災害対策の研究と人材養成の新しい教育サービスとして、自助・共助・公助の枠組みや組織を超え、相互に補完し連携するために、横断的かつ体系的に災害対策を研究し学びあうことで、様々なセクターで活躍できる人材を養成します。

災害対策に関する「研究」と「教育」を両輪として、災害対策に関する知の集積と研究を促進することで、行政、企業・団体、地域住民など、多様なステークホルダーによる災害対策の発展に貢献します。

なお、DMTCは、大学院情報学環総合防災情報研究センター（CIDIR）とも協力して運営していきます。

ビジョン: For Resilient Future

私たちは、人類が直面する自然災害に対し、個人と社会の災害対策力を養成、実装化することで、国や地域を超え、一人ひとりの命を支え合える未来の実現をめざします。

ミッション: Change the Social Mind

私たちは、災害からより多くの人命を守り、社会の機能を継続させるために、災害対策に係る体系的かつ実践的なトレーニングを提供することで、社会を支える一人ひとりの取組、意識に変化を起こし、持続可能な社会に寄与できる人材を養成します。

活動方針: For all Students

人々が災害対策に求める必要な知識、スキル、ノウハウを実践的なトレーニングで習得できるよう、災害対策及び教育手法の研究を進め、その成果を新しい教育サービスとして、社会に提供します。

活動効果: Effect to the Society

私たちが提供する教育プログラムにより、家庭・地域・職場等において、予防概念に基づく災害対策を推進し、社会の様々な課題解決に貢献する人材を養成します。

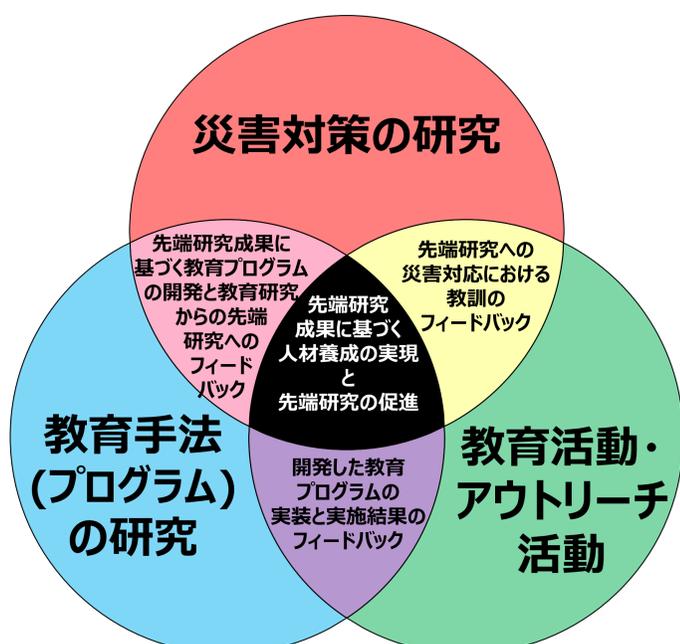


「知」の集積と共有

DMTCは、**学び、体験し、対話し、未来を考える場**です。

DMTCの学習方法の考え方：

- 1) 主体的な学び：
受講生の地域や組織の状況を踏まえて主体的に学ぶ。
- 2) 対話的な学び：
異なる多様な他者（行政、企業、住民、ボランティア、国際）や立場の方々と対話し、自己の考え方を広げ深める。
- 3) 深い学び：
既に受講者が身に付けている知識や情報を関連付け、多面的、複眼的に思考し、問題を見出して解決策を考え、考えを表現・伝達する。



私たちは、災害対策と教育手法の研究に基づき教育活動・アウトリーチ活動を行います。また、活動結果のフィードバックによる災害対策と教育手法の研究の促進を図ります。

DMTCの教育ツール

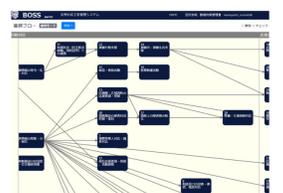
DMTC専用の
教務システム



受講状況の可視化



災害対策工程
データ蓄積と共有



受講の申し込み管理、講義動画、受講状況の把握、レポート管理、修了証の管理等 Eラーニングの動画

